

県名	熊本県	商工会名	南阿蘇村商工会
事業者名	離れの宿 のんびりパパ		

題名	跡継ぎ応援事業補助金を活用した浴室環境改善で、稼働率向上
----	------------------------------



阿蘇五岳を間近に望む南阿蘇の一軒宿

氏名	国分 多恵
支援テーマ	
☐	創業
☐	経営革新・事業再構築
☐	地域資源活用・新連携
☐	農商工連携・6次産業
☐	販路拡大・販路支援
☐	海外展開・海外販路開拓
☐	事業再生・再チャレンジ
☒	事業承継
☐	ものづくり
☐	雇用・労務関係
☐	資金繰り
☐	持続化補助金
☐	DX・IT化支援
☐	価格転嫁
☐	事業継続計画 (BCP)
☒	その他

※複数のテーマ選択可

支援前の課題

【事業概要】

南阿蘇村で30年続く宿泊施設である。基本プランは、あそ赤牛のビーフシチューやステーキなどをメインとする地元食材を使った一泊二食付コースディナーと朝食を提供している。全5棟の客室は無料Wi-Fi、液晶テレビ、省エネエアコンなどを完備し、最大定員は16名。貸切風呂3つ(うち2つ稼働)があり、宿泊客は無料で利用可能。一つには近隣温泉からの運び湯を使用している。

【事業課題(承継前)】

事業承継前の主な課題は、前経営者である実父の高齢化によるサービス品質の維持困難であった。年齢的な理由から、顧客の要望を断ることやサービスミスが増加し、顧客と実父の双方にストレスが増大している状況だった。これに加え、コロナ禍とリピート客の高齢化が重なり、売上が伸び悩んでいただけでなく、シーズンによる売上の波や借入の返済負担も経営上の重荷となっていた。さらに、浴室設備も老朽化が進み、3つある浴室のうち1つが使えない状況となり、お客様の入浴時間にお待たせするなど、早急な対応が必要な状況であった。

【支援計画】

短期計画: 老朽化した浴室環境改善による、業務効率化と休眠浴室稼働による顧客満足度向上

中期計画: TSMC関連のビジネス需要の取込み、増加するインバウンド観光客向け新プランの開発

長期計画: 長期滞在客取込みのための施設内設備増強(トレーラーハウス等)による事業拡大

支援内容

【支援内容】

支援では、まず経営支援プログラムの策定を行った。事業承継直後の状況を考慮し、丁寧にヒアリングを実施。今後のビジョンに基づき、業務効率化を見据えた老朽設備の刷新、および新規顧客獲得のための新宿泊プランの認知拡大を提案し、経営の安定化を目指すこととした。

また、事業承継補助金(後継ぎ応援事業補助金)を活用した浴室環境改善を支援した。補助金の事業計画策定および申請は専門的知識が必要なため、商工会の伴走型支援を中心とし、特任経営指導員や中小企業診断士と連携した支援を実施することで、採択に至った。

【進捗・成果】

現在、後継ぎ応援事業補助金の補助事業実施期間中であり、令和7年10月末に事業完了予定。

事業承継後、稼働していない浴室の改善は早急な対応が必要であったものの、設備投資額が大きく自己資金のみでは困難であった。そこで補助金の活用を検討を始めたが、当初は「お客様の不便を解消する」ための設備投資として捉えていた。補助事業の採択に向けて事業計画を作成したことで、①業務効率化の実現、②顧客満足度の向上、③集客数の増加という具体的な効果が見込まれることが明確になった。これにより補助金採択につながったことで、設備投資の資金として、補助金を活用することができた。

この補助事業により、メンテナンスの手間を大幅に削減しつつ、衛生的な浴場環境を顧客に提供することで、滞在満足度向上が期待でき、特に低評価であった温泉・お風呂の項目改善を行う。また、入浴案内のオペレーションが改善されることに加え、公式LINEアカウントなどのSNSや予約サイトを活用した情報発信を強化する。これにより既存顧客と未顧客への認知度を高め、集客増を見込む。

支援の経過

期間	支援内容
R7年2月	確定申告支援
R7年3月	経営支援プログラム作成
R7年5月	事業計画策定のための専門家派遣
R7年5月	県事業承継・後継ぎ応援事業補助金申請
R7年7月	交付決定
R7年10月	事業進捗状況確認・フォローアップ

支援内容の感想

初めての事業承継の事業者だったため、先輩指導員からアドバイスを受けながら慎重に進めました。行動力があり、指導内容について真摯に対応される事業者さんで、順調に業績は伸張しており、自身の指導にも自信ができました。今後も継続して伴走支援を行うことで事業拡大につなげていきます。